

令和元年度 施策評価表

施策	0702 障がい者の社会参加の促進	施策担当部署	福祉保健部	部長	川下 隆治
		施策担当課等	障がい福祉課	課長	原 和彦
施策の方針	障がい及び障がい者に対する理解を促進し、障がい者の活動環境の整備や地域における支え合いの体制づくりを進めるとともに、障がい者一人ひとりの身体と心の健康づくりに取り組む。				

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 県障害者スポーツ大会年間参加者数	人	135	179 183	195 175	212 97	231	251	45.8%	38.6%
② 手話奉仕員など各種養成講座の年間参加者数	人	60	72 93	79 69	86 116	94	95	134.9%	122.1%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①県障害者スポーツ大会参加者数は事業所に参加に呼びかけたものの、事業所からの参加が減ったことにより目標値を下回った。
- ②各種養成講座は、29年度までは3講座の開催であったが、30年度からは4講座を開催した。
30年度は、従前からの3講座の参加者数だけをみても29年度と比較して28名の増であり、更に講座数が増えたことにより目標値を上回った。

施策経費

(単位:千円)		H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
内訳	事業費	36,162	37,646	35,469	
	国庫支出金	6,614	7,449	7,226	
	県支出金	3,307	3,724	3,607	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	26,241	26,473	24,636	
	人件費	5,848	6,010	-	
フルコスト	42,010	43,656	-		

施策の概要

070201	こころのバリアフリーの推進	障がいのある人とない人との相互理解を深める「こころのバリアフリー」を推進するため、イベントやスポーツ大会など、様々な機会を捉えて障がいに関する理解の促進や広報に努めます。
070202	生活しやすい環境づくり	障がい者の社会参加を促進するため、外出支援の充実や施設のバリアフリー化などの環境整備を進めます。
070203	健康づくりの促進	障がい者一人ひとりが安心して社会生活を営むことができるよう、健康診査、健康相談等の充実など、身体と心の健康づくりに取り組みます。 また、内部障がい等の大きな原因となる高血圧、糖尿病などの生活習慣病やうつ病などの精神疾患等について、発症や重症化の予防に努めます。
070204	地域で支え合う体制づくり	市民一人ひとりが共に支え合う地域社会を構築するため、住民参加型の福祉活動を推進し、市内の各種福祉団体や市民活動団体等との連携強化を図ります。 また、日常生活での安全対策や災害などの緊急時に備え、安否確認や避難・誘導などを行うための支援体制づくりを進めます。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成 する上での 問題点・課 題	障がいの有無に関わらず、誰もが互いに尊重し支え合う共生社会を実現するため、合理的配慮のもと、ユニバーサルデザインやバリアフリーの実現に努めるとともに、障がいや障がい者（児）についての市民の理解を促進することが重要である。大村市手話言語条例（平成30年1月1日施行）を制定したところであり、当事者や関係団体、地域住民の意見を聞きながら取組みを進めていく必要がある。
------------------------------	---

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

--	--

【ACTION (改善・改革)】

問題点・課 題を踏まえ た施策構成 事務事業の 改善・改革 や新規事業 についての 考え方	障害や障害者に関する理解を深めてもらえるよう、広報紙、ホームページなど各種媒体を活用した情報発信や、手話出前講座、要約筆記者養成講座等の市民向け研修会をさらに充実させていく。
--	---

令和2年度新規事業

	事業名（仮称）	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	